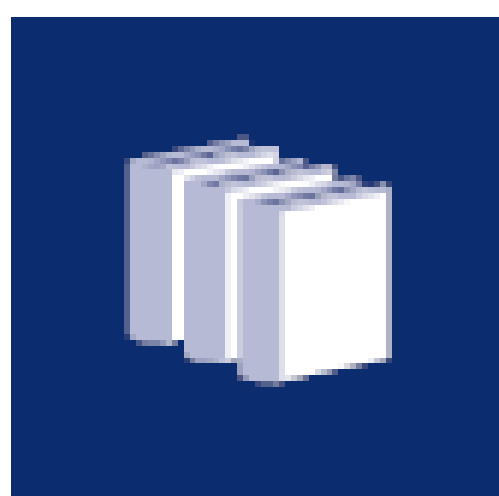


京都大学アカデミックデイ2017



Dialog with the Public

『研究者の本棚』 ブックリスト



項目説明

ブックリストとは・・・京都大学研究者のオススメの本を紹介します。

※一部を除き、紹介した本は「研究者の本棚」で展示しています。

- ブース番号 出展者のブース番号
- 出展区分 「研究者と立ち話(ポスター／展示)」
「ちゃぶ台囲んで膝詰め対話」
「お茶を片手に座談会」
- 所属・職名・氏名 出展代表者の所属・職名・氏名
- 出展タイトル 出展研究者の出展タイトル
- ジャンル ※今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本
※今ハマっている本(誰かとこの本について話したい)
※若者にお勧めしたい本
※自分の研究に関連して紹介したい本の4つから選択していただきました。
- 書名／著者名／出版社名 オススメする本の書名／著者名／出版社名
- 推薦理由、コメント、エピソード等 オススメする理由、コメントなど
- 『書名』の横の★★ 『研究者の本棚』コーナーに展示あり



| ブース番号 | 出展区分 | 出展代表者 | | 推薦図書 | | |
|------------------|--------------------------------|---|-------------------|-------------------------|--|---|
| | | 所属・職名・氏名 | 出展タイトル | ジャンル | 『書名』／著者名／出版社名 | 推薦理由、コメント、エピソード等 |
| 5 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 学術情報メディアセンター教授 緒方広明 | 教育・学習支援のためのデータ分析 | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『星を継ぐもの』★★ ジェイムズ・P・ホーガン 東京創元社 | サイエンス・フィクションの古典的名作に数えられる1冊ですが、個人的には「フィクション・サイエンス」だと思って読んでいます。人類の起源をめぐる架空の調査をテーマに、研究とは、学問とは何かを掘り下げます。研究ってなんだろう、大学に進学しようかどうしようか、と進路に迷っている人におすすめです。 |
| | | | | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『働きたくないイタチと言葉がわかるロボット:人工知能から考える「人と言葉」』★★ 川添愛 朝日出版社 | 猫も杓子もAIブームな昨今ですが、現状のAIに本質的に何ができて何ができないのか、AIにとって理解とは何なのかを正しく説明できる人は多くありません。この本は寓話形式で、AIの現状や仕組み、代表的なアルゴリズムを紹介しています。「いつか機械が反乱を起こすに違いない」とAIを極度に恐れている人や「我が社もAIで問題解決だ」と息巻いている人たちに、正しく冷水をぶっかけるために、ぜひ読んでみてください。 |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『ゼロからトースターを作ってみた結果』★★ トーマス・トウェイツ 新潮社 | いま身近にあるすべての便利な道具たちは、これまでにたくさんの人たちが改良に改良を重ねてきた結果、ようやく存在できているものばかりです。最も原始的な家電の一つであるトースターすら、仕組みをよく知っていたとしても、ゼロから作ろうと思うとかなり困難です。全能感とやる気に溢れた若い人、「なろう小説」が好きな人にぜひ読んでもらいたい一冊です。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『AIの遺電子』★★ 山田胡瓜 秋田書店 | 週刊少年チャンピオンに連載されている漫画作品です。コンピュータや人工知能が当たり前のように生活に入り込みつつある現代を考えるきっかけとして、是非読んでみてください。小難しい話は抜きにして、普通に漫画としても面白いです。 |
| 7 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院理学研究科准教授 市川温子 | 素粒子ってなんだろう？ | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『燃えつきた反宇宙』 広瀬立成 ナツメ社 | 高校生のときに人生で初めて出会った素粒子の本。素粒子の不思議な世界に引き込まれ、より深く素粒子のことを知りたいと思うようになった。 |
| | | | | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『古寺巡礼』★★ 和辻哲郎 岩波書店 | 大正時代に書かれた京都・奈良の古寺に関する印象記。和辻氏の知識量にはただただ圧倒される。昨年は週末を使ってこの本に登場するお寺にいくつか訪れた。平日は実験で人工的に作られた数ナノ秒という時間の信号を扱っているのに対して、週末訪れたお寺には同じく人間によって作られた千年以上前の人工物が鎮座しているということがとても印象的だった。 |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『どくとるマンボウ青春記』★★ 北杜夫 新潮社 | 北杜夫氏の旧制高校時代から大学にかけてを綴ったエッセイ。大学2年の春休みに読んで、この本からは人生観にかなり強く影響を受けた。この本は、青年期の悩みに対する一つの答えを与えてくれたように思う。悩み多きうら若き皆さまにはぜひ。 |
| 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『解析力学・量子論』★★ 須藤靖 東京大学出版会 | 物理学の基礎である解析力学と量子力学の参考書。参考書という形を成しているが、著者の科学に対する思いや姿勢などが随所に記されており面白い。物理学を学んだことのない人でも、前書きと後書きは為になることが書かれていると思う。 | | | | |
| 8 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院理学研究科助教 宇高寛子 | ナメクジとあなたで始める新しい科学 | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『オープンサイエンス革命』★★ マイケル・ニールセン 紀伊國屋書店 | インターネットの登場により、現在の科学が大きな転換点を迎えていることを理解しました。これからの科学者は大なり小なりこの変化の影響を受けることでしょう。 |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『ほしじいたけ ほしばあたけ』★★ 石川基子 講談社 | 主役はキノコ。しかも、干しいたけ！絵本ですが、子供だけでなくキノコ好き、料理好きの大人が読んでも、新しい発想を得た心持になる一冊です。 |

| ブース番号 | 出展区分 | 出展代表者 | | 推薦図書 | | |
|------------|---|---|--------------------|-------------------------|---|---|
| | | 所属・職名・氏名 | 出展タイトル | ジャンル | 『書名』／著者名／出版社名 | 推薦理由、コメント、エピソード等 |
| 8 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院理学研究科 助教 宇高寛子 | ナメクジとあなたで始める新しい科学 | 若者にお勧めしたい本 | 『フィンチの嘴：ガラパゴスで起きている種の変貌』★★ ジョナサン・ワイナー 早川書房 | 生きものの進化を研究するとはどういうことなのか。フィンチの嘴を例に、大きな発見が地道な努力の積み重ねであることを教えてください。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『ゾウの時間 ネズミの時間：サイズの生物学』★★ 本川達雄 中央公論新社 | シンプルな物理の視点で生物を見直してみた名著。科学の視点で世界を見るとはどういうことなのかの一端を垣間見ることができる。 |
| 9 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院農学研究科 教授 入江一浩 | アミロイドβの構造解析と診断への応用 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『認知症：発症前治療のために解明すべき分子病態は何か?』★★ 森啓 編 羊土社 | アルツハイマー病の発症前治療のために解明すべき分子病態について、最新の研究成果を交えてわかりやすく解説されている。 |
| 11 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院エネルギー科学研究科 助教 藪塚武史 | 次世代の医療を支えるアパタイトの科学 | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『医学生』★★ 南木佳士 文藝春秋 | 著者が秋田大学医学部で実際に医学生だったころをモチーフにして書いたとされる名作中の名作。今にして思えば、本書が医学のお手伝いをする「生体材料学」という分野を志すきっかけの一つだったように思います。エリート養成機関が舞台の話にしては実に泥臭く、切ないエピソードが満載です。人の命をあずかる仕事に就くことの大変さが、内臓をえぐられるかのようなリアルな筆致で描かれています。 |
| | | | | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『ユリイカ 2017年7月号 特集=加藤一二三 一棋士という人生』★★ 加藤一二三、羽生善治、森内俊之、佐藤康光、先崎学、糸谷哲郎 青土社 | 先日現役を引退された加藤一二三九段は「ひふみん」の愛称で親しまれていますが、実はそんな呼び方をするのが畏れ多いほどの物凄い業績を残した大人物です。歴代3位の通算勝数(1324勝)、14歳で四段昇段も離れ業ですが、通算黒星1108敗、18歳でA級八段は、今後もこれを超える記録は出てこないかもしれません。棒銀一筋、うな重一筋の大棋士の足跡を、将棋界のスーパースター達が語り尽くす永久保存版の一冊。 |
| | | | | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『キミは何のために勉強するのか～試験勉強という名の知的冒険2～』★★ 富田一彦 大和書房 | 群馬県出身の私は、高校卒業後、今はなき代々木ゼミナール高崎校に通っていました。当時はサテラインという衛星中継で代々木本校の授業をリアルタイムで受けておりましたが、そのときに富田先生の英語の授業も受講しておりました(が、あまりついていけてなかった)。著者の前作「試験勉強という名の知的冒険」も面白いです。 |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『この世界を知るための人類と科学の400万年史』★★ レナード・ムロディナウ 河出書房新社 | 私たちの日常生活は、偉大な先人たちが築きあげた諸々の科学法則を土台として成り立っています。しかし、それらはどうやらほんの一部の天才が超人的なひらめきで魔法のように探り当てたものばかりではないようです(我々から見ればほとんどそう映るのも事実ですが)。科学法則の発見の裏には、人間ドラマや当時の社会情勢が大きく影響していることを本書は気付かせてくれます。 |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『完全図解周期表：周期表と全118元素を徹底解説：日本初の命名!新元素「ニホニウム」』★★ ニュートンプレス | 近年話題の新元素「ニホニウム」も掲載されている、おそらくこの手の本では現在最新の書。本書は化学の基本からそれぞれの元素の特徴、化学物質と日常生活とのかかわりについて、膨大な数のイラストを用いてわかりやすく教えてください。本書に限らず、写真入りの化学書は実に楽しく、社会人の方や受験生だけでなく、小中学生の皆さんにもおすすめです。 |
| 若者にお勧めしたい本 | 『介護士からプロ棋士へ：大器じゃないけど、晩成しました』★★ 今泉健司 講談社 | 社会人出身の棋士・今泉健司四段の自叙伝。生き馬の目を抜く奨励会で二度も挫折を味わい、職を転々とし、41歳でついに花を咲かせた今泉四段の半生を綴ったこの本に、私は元気をもらっています。その後、今泉四段は規程の成績を挙げ、今期より順位戦(名人戦の予選)の舞台で活躍しています。ちなみに今泉四段の現在の師匠は、株主優待で有名なあの桐谷広人七段です。 | | | | |

| ブース番号 | 出展区分 | 出展代表者 | | 推薦図書 | | |
|-------|------------------|--------------------------|--------------------|------------------|--|--|
| | | 所属・職名・氏名 | 出展タイトル | ジャンル | 『書名』／著者名／出版社名 | 推薦理由、コメント、エピソード等 |
| 11 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院エネルギー科学研究科 助教 藪塚武史 | 次世代の医療を支えるアパタイトの科学 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『新版 ヴィジュアルでわかるバイオマテリアル』★★ 古園勉、岡田正弘 学研メディカル秀潤社 | 著者の古園勉先生(近畿大)と岡田正弘先生(岡山大)は、両氏ともセラミックスが専門ですが、本書の内容は多岐にわたり、プラスチック系生体材料、セラミックス系生体材料、金属系生体材料のほぼすべてがカバーされています。実際の医療現場で使用されている生体材料が写真入りで数多く紹介されています。お医者さんがどのような道具を使って我々の身体を治してくれているのかを知ることができます。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『人類を変えた素晴らしき10の材料：その内なる宇宙を探検する』★★ マーク・ミーオドヴニク インターシフト | 医療、情報、電気、食生活、交通、…私たちは普段何の疑問もなく最新の科学技術を楽しみながら日常生活を送っておりますが、それらを根幹で支えているのが「材料」の技術です。本書では鋼鉄、ガラス、紙、プラスチックなど、陰ながら私たちの生活を支えている10の材料にまつわるエピソードがまとめられています。なお第10章では、高齢者の生活を支援するインプラントについて語られています。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『新素材を生み出す「機能性化学」がわかる』★★ 齋藤勝裕 ベレ出版 | 化学を身の回りにある「素材」という視点から説き、近年どのような新物質が注目されているのか、われわれの生活にどのように活かされようとしているのかが、分かりやすく解説されています。第3章では生体材料についての紹介もされています。文章も分かりやすいのでおすすめです。 |
| 13 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院生命科学科 教授 松田道行 | 光で探る生命の原理 | 若者にお勧めしたい本 | 『おもしろくても理科』★★ 清水義範、西原理恵子 講談社 | 特に理科が苦手だという人におすすめな本。難解な表現を使わず、絶妙なイラストを楽しみながら読み進めるうちに、理科嫌いが治ってしまうという一冊。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『光るクラゲがノーベル賞をとった理由：蛍光タンパク質GFPの発見物語』 生化学若い研究者の会 編 日本評論社 | 光るタンパク質、GFPの発見から、生命科学研究への応用まで、やさしく解説されている。最新の科学研究により、生命現象がどのようにして”見える”ようになったのかが分かる良書。 |
| 17 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院農学研究科 助教 中谷加奈 | 土石流が発生した時に危険な場所は？ | 若者にお勧めしたい本 | 『わかりやすい砂防技術』 水山高久 全国治水砂防協会 | 砂防分野における現状と課題をわかりやすく考察した本です。土砂災害や砂防の研究者や実務者を対象にした本ですが、普段当たり前のように報道されている砂防ダムの効果や機能、森林による土砂災害防止効果などの実態を砂防に携わってきた研究者の視点から記しています。土砂災害や防災を深く考えるための一冊として若い方に読んで頂ければと思います。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『土砂災害と防災教育：命を守る判断・行動・備え』★★ 檜垣大助 他 編 朝倉書店 | 土砂災害や防災教育について、図や写真を多く用いて専門家が多様な視点から紹介しています。実験による現象の理解やシミュレーションを用いた影響範囲の把握、効果的な地域防災活動のための日ごろからの備えや取り組み(地域住民が作成するハザードマップ)など幅広い内容が記載されており、防災を考えるきっかけになる一冊かと思います。 |
| 18 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院理学研究科 教授 杉山弘 | 人工遺伝子スイッチでがんを治す | 若者にお勧めしたい本 | 『有機化学要論：生命科学を理解するための基礎概念』★★ 入江一浩、津江広人 編著 学術図書出版社 | 高校生から大学生向けの本である。有機化学に馴染みのない学生に対して、有機化学を初心者向けに幅広く書かれた教科書的な入門書として推薦したい。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『基礎ケミカルバイオロジー』 杉山 弘、板東俊和 化学同人 | 生物、化学、薬学的な視点から高校生～大学生に向けて、DNA、RNA、タンパク質の構造と機能に関して分かりやすく説明しています。ケミカルバイオロジーという学問の入門書として本著を推薦します。 |
| 19 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院薬学研究科 教授 竹本佳司 | くすりを組み立てる分子“触媒”の研究 | 若者にお勧めしたい本 | 『くすりをつくる研究者の仕事：薬のタネ探しから私たちに届くまで』★★ 京都大学大学院薬学研究科 編 化学同人 | 我々が日ごろお世話になっているクスリが、どのようなプロセスを経て発見され開発されてゆくのかを知ることができる書籍です。特に医薬品の種を発見するアカデミア研究の醍醐味や苦労話などを紹介しています。この一冊で薬の世界がざっくりわかります。 |

| ブース番号 | 出展区分 | 出展代表者 | | 推薦図書 | | |
|-------|-----------------------------------|--|--------------------|-------------------------|---|--|
| | | 所属・職名・氏名 | 出展タイトル | ジャンル | 『書名』／著者名／出版社名 | 推薦理由、コメント、エピソード等 |
| 19 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院薬学研究科教授 竹本佳司 | くすりを組み立てる分子“触媒”の研究 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『有機分子触媒の化学：モノづくりのパラダイムシフト』★★ 日本化学会 編 化学同人 | 危険毒物を使用しない、廃棄物を出さない、を目指した環境に優しいモノづくりの技術の開発は喫緊の課題である。高性能な合成触媒を創り出せれば、モノづくり手法が革新する可能性を秘めている。本書では、日本の“有機分子触媒”研究の最前線で活躍している研究者が自らの研究を分かりやすく解説している。 |
| 21 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 人文科学研究所 非常勤研究員 河西瑛里子 | 21世紀によみがえる魔女たち | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『聖魔女術：大いなる女神宗教の復活』 スターホーク 国書刊行会 | 修士課程入学後すぐ、指導教官の講義で現代に魔女術をよみがえらせている人々のDVDをみました。その中に、現代の魔女界のスターとして知られるスターホークが登場していて、手に取ったのが本書です。原著の初版は1979年になりますが、現代の魔女術について、当事者の視点から丁寧に説明され、エクササイズも豊富です。今でも魔女たちに大人気の一冊です。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『女神：聖と性的人类学』 田中雅一 編 平凡社 | 魔女術に影響を受けたフェミニストが始めた信仰に、女神運動があります。本書には、その実践者が率いる女神の聖地ツアーへの参加をもとに執筆された論文が所収されています。それ以外の論文も、様々な視点から女神について志向を巡らせており、女性の神的存在とは何か、考えさせられます。 |
| | | | | | 『鏡リュウジの魔女と魔法学』★★ 鏡リュウジ 説話社 | 学術書ではありませんが、現代の魔女術について、手軽に読める一冊です。本書の筆者は、占星術師として知られていますが、若かりし頃、ロンドンで魔女たちと交流しており、その体験をもとに、現代の状況も付け加えて、書かれています。学術書も含めた参考文献も豊富です。 |
| | 『グラストンベリーの女神たち』★★ 河西瑛里子 法蔵館 | 発表者はイギリスのグラストンベリーという町において、魔女術や女神運動をはじめとした、様々な信仰に携わる人々を調査してきました。その博士論文をもとにした書籍です。 | | | | |
| 22 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院農学研究科教授 近藤直 | 蛍光物質が救う90億人の食料 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『生物センシング工学：光と音による生物計測』★★ 近藤直、小川雄一、鈴木哲仁 編著： 西津貴久、椎木友朗 共著 コロナ社 | 本研究のことを掲載していること、大学の3回生の授業で利用している。 |
| 23 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 福井謙一記念研究センター リサーチリーダー 高塚和夫 | 分子科学の超高速実験と動的電子描像 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『Chemical theory beyond the Born-Oppenheimer paradigm : nonadiabatic electronic and nuclear dynamics in chemical reactions』 K. Takatsuka, T. Yonehara, K. Hanasaki, Y. Arasaki World Scientific Publishing Co | 動的な分子描像を展開した研究書です。理論化学の基礎的な事項から出発して、最先端まで書かれています。新しい時代の分子科学を目指す学部生・大学院生に読んでいただきたい。 |
| 24 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院工学研究科 助教 松田直樹 | 音で見る ー超音波による非破壊検査ー | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『カラスの教科書』★★ 松原始 雷鳥社 | カラスの行動を易しく解説した本ですが、フィールドワーク研究者の生態についての本でもあります。読み終わる頃には、外で見るカラスから目が離せなくなるでしょう。 |
| | | | | | 『カラスの補習授業』★★ 松原始 雷鳥社 | カラスの行動を易しく解説した本ですが、フィールドワーク研究者の生態についての本でもあります。読み終わる頃には、外で見るカラスから目が離せなくなるでしょう。 |
| | | | | | 『CPUの創りかた：IC10個のお手軽CPU設計超入門：初歩のデジタル回路動作の基本原則と製作』★★ 渡波郁 マイナビ出版 | 身近な機器で働く電子の頭脳、CPUの初歩の初歩についての解説本であると同時に、工作の指南書でもあります。表紙の軽さとは裏腹にブラックボックスを少しでも明かそうというアカデミックな理念に支えられた名著です。 |

| ブース番号 | 出展区分 | 出展代表者 | | 推薦図書 | | |
|-------|------------------|----------------------|-----------------|-------------------------|---|--|
| | | 所属・職名・氏名 | 出展タイトル | ジャンル | 『書名』／著者名／出版社名 | 推薦理由、コメント、エピソード等 |
| 25 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院情報学研究科 助教 大本義正 | 人の間に浮かぶ「意思」 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『正直シグナル：非言語コミュニケーションの科学』アレックス・ペントランド みすず書房 | 非言語情報に基づいた、人間同士の記号的ではない情報のやりとりを紹介している。言葉ではない情報を共有することの奥深さを感じてほしい。 |
| 26 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 防災研究所 教授 中北英一 | 豪雨の謎に挑む | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『東京大洪水』★★ 高嶋哲夫 集英社 | 災害サスペンスとして未曾有の巨大台風が首都圏を直撃するストーリー。 気象防災について考えさせられる。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『一般気象学：第2版補訂版』★★ 小倉義光 東京大学出版会 | 気象学の入門書。 |
| 27 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院農学研究科 研究員 横山操 | 木の物語を聴く、木のお話を読む | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『法隆寺を支えた木』 西岡常一、小原二郎 NHK出版 | 身近であるが故に、知っているような気になって見過ごしてしまう物事は色々あります。 樹木や木材も、そんな存在かもしれません。 けれども、木材は何万年も前から私たちの暮らしに無くてはならない大切な材料で、そのことは今も変わらないこと、そして、これからも変えてはならないことを、考えるきっかけとなった一冊です。 |
| | | | | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『ロボ木ーと森』★★ やましたあきのり、よこやまみさお、たかみねみきこ 海青社 | 自身が母親になり、あらためて、これからの私たちの暮らしや、樹木のこと、木材のこと、環境のことについて思いを深くするようになりました。 そんな時、小さな子どもとその保護者の方々に向けての絵本製作プロジェクトに参画することになりました。 “もくいく(木育)”は、まだ耳慣れない言葉かもしれませんが、私たちの毎日の小さな気付きが、これからの子どもたちが生きる世界を守ることにつながる、と信じて作った多言語版の絵本です。 |
| | | | | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『ロボ木ーと木』★★ やましたあきのり、よこやまみさお、たかみねみきこ 海青社 | 自身が母親になり、あらためて、これからの私たちの暮らしや、樹木のこと、木材のこと、環境のことについて思いを深くするようになりました。 そんな時、小さな子どもとその保護者の方々に向けての絵本製作プロジェクトに参画することになりました。 “もくいく(木育)”は、まだ耳慣れない言葉かもしれませんが、私たちの毎日の小さな気付きが、これからの子どもたちが生きる世界を守ることにつながる、と信じて作った多言語版の絵本です。 |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『日本の木と伝統木工芸』★★ メヒティル・メルツ 海青社 | 私の長年の友人Mechtild Mertz氏が著した本です。 Wood and Traditional Woodworking in Japan の日本語版です。 昨年国際シンポジウムWood Science and Craftsmanship 2016でも事務局推奨の書籍として関係者に紹介され、日本の伝統木工芸の概説として好評を得ています。 是非、若い世代の方々に手に取って頂きたいと思います。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『木の文化と科学』★★ 伊東隆夫 編 海青社 | 木材の材料物性について博士論文を提出した後、伝統文化の中での木材が果たす役割に興味を持ち、“木材の老化—木材を大切に使い続けるとどうなるか、どれだけ長く使い続けられるのか、どこにどのような樹種が使われているのか—”をテーマに研究をはじめました。 そのような研究の中で出版に関わった、思い入れのある一冊です。 |

| ブース番号 | 出展区分 | 出展代表者 | | 推薦図書 | | |
|-------|------------------|------------------------------------|------------------|-------------------------|--|--|
| | | 所属・職名・氏名 | 出展タイトル | ジャンル | 『書名』／著者名／出版社名 | 推薦理由、コメント、エピソード等 |
| 28 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 国際高等教育院講師 DanielMilne | 英語教育や異文化理解に関する研究 | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『Presence : bringing your boldest self to your biggest challenges』 Amy Joy Cuddy Little, Brown and Company | Amy Cuddy is a social psychologist who studies body language and how it affects the chemistry in our brains, particularly our confidence and anxiety levels. Using techniques she presents in her book, we can create a learning environment more conducive to active participation, and empower our students for the challenges of tasks such as group discussions and presentations. |
| | | | | | 『Orientalism』 Edward Said Vintage | This was the beginning of my interest in research about intercultural communication and how we think about people from other cultures. |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『The play writing of Eugene O'Neill : Its process and technique』 伊藤佳世子 BOOK EAST | |
| 29 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | ウイルス・再生医科学研究所准教授 井上康博 | めっちゃ折れてん！2017 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『ツノゼミ：ありえない虫』★★ 丸山宗利 幻冬舎 | きっと、宇宙から飛来したに違いない。何より、カメムシみたいな虫がこんなにもバリエーションのある形を見せているというのが、数理的には、カメムシのおなら以上にブンブンに魅力的な芳香を放っているのだ。なぜなら、たった1つの形を説明する方程式よりも、2つの形を説明する方程式のほうが偉く、あらゆる形を説明する方程式は、超絶！宇宙の法則そのものだ！この虫は、広大な解空間を見せつけて、人類の知性を試している！ |
| 31 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院工学研究科教授 乾晴行 | 炎を制する一超耐熱構造材料 | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『耐熱合金のおはなし』★★ 田中良平 日本規格協会 | 高温耐熱材料がいかにCO2削減、省エネルギーに寄与しているか、どのようにして材料設計が行われているのかなどについて初心者にもわかりやすく書かれた本で、非常に感銘を受けた。 |
| | | | | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『元素戦略：科学と産業に革命を起こす現代の錬金術』★★ 中山智弘 ダイヤモンド社 | 「材料を制する者が世界を制する。」元素を原子スケールでマニピュレートすることで、これまでにない素晴らしい材料をいかに作り上げるかを考えさせられる。 |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『航空の世紀』★★ 中山智弘 技報堂出版 | 航空機における耐熱材料の重要性を系統的に理解するのに最適の書。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『金属間化合物入門』★★ 山口正治、乾晴行、伊藤和博 内田老鶴圃 | 耐熱材料の中のエース、金属間化合物について平易に述べられている。 |
| 33 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 医学部附属病院臨床研究総合センター 特任准教授 佐藤恵子 | ゲノム編集で肉厚な真鯛、食べる？ | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『現代倫理学入門』★★ 加藤尚武 講談社 | 学部生のときに読んで倫理学を学ぶことにしました。現代の社会的問題を考える上で哲学が重要であることを教えてくれる本です。 |
| | | | | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『137億年の物語：宇宙が始まってから今日までの全歴史』★★ クリストファー・ロイド 文藝春秋 | 地球が誕生して、生物が生まれ、人間が出現して、文明も争いも起り・・・という物語が「続き物」として語られています。ページを開くだけで時空を超え、好きな時と場所に旅ができる、とても素敵な本です。 |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『マンガで学ぶ生命倫理：わたしたちに課せられた「いのち」の宿題』★★ 児玉聡 文、なつたか 漫画 化学同人 | 再生医療やら脳死臓器移植やら、「夢の医療」などと報道されるけど、そんなにバラ色なの？ そもそも、脳死ってなんだっけ？ 生き死にの問題は、身近なことであり自分で考えなくてはならないのですが、難しいし辛気くさいし、ハードルが高いですね。 この本は、女子高生の日常を軸にして、脳死や生殖医療、クローン技術など、生命倫理の問題を学びつつ、考えられるように工夫されています。 是非手にとってみてください。 |

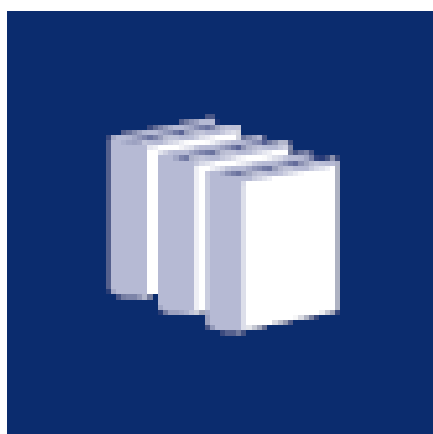
| ブース番号 | 出展区分 | 出展代表者 | | 推薦図書 | | |
|-------|------------------|-------------------------------------|--------------------------|-------------------------|---|---|
| | | 所属・職名・氏名 | 出展タイトル | ジャンル | 『書名』／著者名／出版社名 | 推薦理由、コメント、エピソード等 |
| 33 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 医学部附属病院臨床研究総合センター 特任准教授 佐藤恵子 | ゲノム編集で肉厚な真鯛、食べる？ | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『ゲノム編集の衝撃：「神の領域」に迫るテクノロジー』 NHK「ゲノム編集」取材班 NHK出版 | ゲノム編集の技術の解説、品種改良や医療への応用、研究の現状、技術の問題点などがわかりやすく説明されています。 |
| 35 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 学際融合教育研究推進センター 教授／教授 田中庸裕／田中功 | 元素戦略プロジェクト 元素戦略プロジェクト | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『元素戦略：科学と産業に革命を起こす現代の錬金術』★★ 中山智弘 ダイヤモンド社 | 元素戦略プロジェクトのプログラムオフィサーが著した本で、「元素戦略」のねらいがわかるように書かれている。 |
| 37 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 環境安全保健機構附属健康科学センター 助教 松崎慶一 | 効率的な検尿スクリーニングを目指して | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『川の見える病院から：がんとたたかう子どもたちと』 細谷亮太 岩崎書店 | 高校1年生の時に著者の講演を聞いて、医師になろうと決断しました。 思い出に残る一冊です。 |
| | | | | 今ハマっている本(誰かこの本について話したい) | 『ねじまき鳥クロニクル』★★ 細谷亮太 新潮社 | 高校生の頃に初めて読んでから、数年毎に読みたくなって読み直しています。 自分が年を重ねると共に読後感も変わってくる、不思議な小説。 まさにクロニクル(年代記)。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『臨床研究の教科書：研究デザインとデータ処理のポイント』★★ 川村孝 医学書院 | 臨床研究を行う上で、重要なエッセンスが詰まっています。 自分も修士課程・博士課程の学生と共に研究する際に、タイトル通り「教科書」として用いています。 |
| 40 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院文学研究科教授 松田素二 | アフリカから人類の未来の幸せをみる | 若者にお勧めしたい本 | 『新書アフリカ史』★★ 宮本正興、松田素二 編 講談社 | 人類誕生から混沌の現代へ、壮大なスケールで描く民族と文明の興亡。 新たなアフリカ像を提示し、世界史の読み直しを迫る必読の歴史書！ |
| | | | | | 『アフリカ社会を学ぶ人のために』★ 松田素二 編 世界思想社 | 多様な民族・言語・生態環境をもつアフリカが体系的にわかる入門書。 アフリカの経験してきた過去・困難・絶望のなかから、アフリカの潜在力を描きだし、人類社会の希望と可能性を展望する。 21世紀のアフリカを理解するための必携書。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『紛争をおさめる文化：不完全性とブリコラージュの実践』★★ 松田素二、平野(野元)美佐 編 京都大学学術出版会 | 誰もが不完全であることを認める。 これこそが、アフリカ文化に内在した世界観である。 自らの「完全」性を信じ、それ以外のものへの不寛容や攻撃を「遅れたものを救済する」正義として正当化してきた西洋的近代の誤謬を糾す可能性がそこにはある。 緻密な民族誌から、アフリカの日常実践の持つ、紛争を回避し和解を進める力を析出する。 |
| 41 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 文化財総合研究センター 助教 富井眞 | うつわの正面ど～れ～古代人の認知 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『考古学を考える：方法論的展望と課題』 藤本強 雄山閣 | 大学の学部生時代に読んだ時には、よくわからない本でした。 でも、専門の研究を進める中で読み返した時、これは凄い本だな、と思いました。 考古学によって復元された歴史像について書いている本は多々ありますが、歴史像の復元のためにどういった着眼点や考え方、調査方法や論理を用意しておくべきか考えさせてくれる本は、いまだにあまり多くありません。 この本は、その手がかりをたくさん与えてくれます。 |
| 43 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 環境安全保健機構附属健康科学センター 教授 石見拓 | 大学生から始める健康情報活用 | 若者にお勧めしたい本 | 『サピエンス全史：文明の構造と人類の幸福』★★ ユヴァル・ノア・ハラリ 河出書房新社 | |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『臨床研究の教科書：研究デザインとデータ処理のポイント』★★ 川村孝 医学書院 | 疫学や医療統計学を一から学びたいという方、初めての臨床研究に取り組む方にお勧めの一冊です。 |

| ブース番号 | 出展区分 | 出展代表者 | | 出展タイトル | 推薦図書 | | |
|-------|------------------|----------------------------|-------------------|-------------------------|--|---|------------------|
| | | 所属・職名・氏名 | | | ジャンル | 『書名』／著者名／出版社名 | 推薦理由、コメント、エピソード等 |
| 44 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 文学部 教務補佐員 山本孟 | 楔形文字の世界と文字認識の実現 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『楔形文字を読む』★★ ブリジット・リオン、セシル・ミシェル編 山川出版社 | 楔形文字とはどのような文字なのか、丁寧に解説されています。 また、楔形文字で記された諸言語がどのように解読され、それを書き残した書記がどのように育成されたのかもわかりやすく説明されています。 | |
| 48 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 大学院医学研究科 教授 伊佐正 | 脳の機能回復に関わる神経回路の変化 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『意識はいつ生まれるのか：脳の謎に挑む統合情報理論』★★ マルチェッロ・マッスィミーニ、ジュリオ・トノーニ 亜紀書房 | 「意識」の実体を理解することは脳科学の究極の目標。その現時点での到達段階をわかりやすくまとめた好書。 | |
| 49 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | 高等研究院 特別教授 北川進 | ナノ空間の世界と化学 | 若者にお勧めしたい本 | 『化学物質はなぜ嫌われるのか：「化学物質」のニュースを読み解く』★★ 佐藤健太郎 技術評論社 | 科学には負の側面が付き物ではあるが、時として根拠のない偏見により強調されがちである。 科学技術の恩恵とリスクに対してどのように向き合っていくべきか、本書ではそうした負の側面の代表格と言える「化学物質」に焦点を当てて分かりやすく解説している。 | |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『集積型金属錯体：クリスタルエンジニアリングからフロンティアオービタルエンジニアリングへ』 北川進 講談社 | ナノ空間は単なる小さな空間ではなく、設計により特異な構造と機能を発現させることが出来る。 ナノ空間を創生するための代表的手法である集積型金属錯体を設計・構築するための基礎理論・実例を解説した研究者向けのバイブルです。 | |
| | | | | | 『革新的な多孔質材料：空間をもつ機能性物質の創成』★★ 日本化学会 講談社 | ナノ空間の化学の研究トレンドを基礎から先端研究まで広く紹介しています。 この分野の入門として最適な一冊です。 | |
| 52 | 研究者と立ち話(ポスター／展示) | iPS細胞研究所 特定拠点助教 杉本直志 | iPS細胞から輸血用の血小板を作る | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『優雅な留学が最高の復讐である：若者に留学を勧める大人に知ってほしい大切なこと』★★ 島岡要 医歯薬出版 | 留学を題材にして、人生設計の考え方を示してくれる良本でした。 | |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『天才!成功する人々の法則』★★ マルコム・グラッドウェル 講談社 | 原題はOutliersといい、並外れた人たちが生まれた環境背景がこれでもかと例示されます。 環境要素は見逃されがちですが、読むまで気づかなかった環境要素の様々な例は、子育てでのヒントになると感じます。 | |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『再生医療叢書(幹細胞)』★★ 日本再生医療学会 監修 朝倉書店 | iPS細胞を含め、幹細胞の生物学から、再生医療まで網羅された充実した書籍です。 | |
| 54 | ちゃぶ台囲んで膝詰め対話 | 大学院農学研究科 博士研究員 等々力政彦 | 共生進化の実験 | 若者にお勧めしたい本 | 『ご冗談でしょう、ファインマンさん』★ ★ リチャード・P・ファインマン 岩波書店 | 一般には、物理学者ファインマン先生の愉快ないたずらのお話と紹介される本。 しかし、研究とパーソナリティーはどのように繋がることのできるのか、研究生活の中で自身の自由をどのように実現するのかについて、深く考えさせられ、自信を与えてくれる本である。 京都も登場する。 | |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『文明の誕生』 コリン・レンフルー 岩波書店 | 考古学資料から、ある地域に特徴的な文化がおこったと考えられる場合、それが外部からの影響なのか、独立に発明されたのかが問われることが多い。 しかし、ある独創的なアイデアが、外部から到達しなかったと言い切ることが難しい以上、そのような考察上の対立はあまり意味がない。 それよりもそのアイデアがその社会においてどのように受容されたかを考えるべきである、ということについて具体例を示している本。 | |

| ブース番号 | 出展区分 | 出展代表者 所属・職名・氏名 | 出展タイトル | 推薦図書 | | |
|-------|--------------|-------------------------------------|-------------------|-------------------------|--|---|
| | | | | ジャンル | 『書名』／著者名／出版社名 | 推薦理由、コメント、エピソード等 |
| 54 | ちゃぶ台囲んで膝詰め対話 | 大学院農学研究科 博士研究員 等々力政彦 | 共生進化の実験 | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『言語の興亡』 ロバート・M・W・ディクソン 岩波書店 | 地球上の言語は、古生物が断続平衡的に進化するように、言語変化の少ない長い平衡期と急速に分裂、変化する短い中断期が繰り返されたとする新しい説の紹介。オーストラリア先住民の言語研究から導き出された具体的な例などから、異文化接触によって言語が変容してゆく過程を考察する。生物進化との対比が興味深く、また少数者が生き延びるためのヒントも与えてくれる。 |
| | | | | | 『「進化論」を書き換える』 池田清彦 新潮社 | 構造主義の立場から、進化を再考察している。遺伝子還元主義的な研究が多い中、形質変化がはたして遺伝子の突然変異だけで語られうるのかについて、具体的な例とともに問題点を示し、今後の新しい実験に示唆を与えてくれる本。 |
| 57 | ちゃぶ台囲んで膝詰め対話 | 大学院医学研究科 特定准教授 藤本明洋 | ヒトゲノムの深い理解を目指して | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『分子進化学への招待：DNAに秘められた生物の歴史』 宮田隆 講談社 | 分子進化学の面白さ、基礎がとてもわかりやすく説明してあります。この本を読んで分子進化学へ進んだ方は何人もいます。 |
| | | | | 若者にお勧めしたい本 | 『がん遺伝子の発見—がん解明の同時代史』★★ 黒木登志夫 中央公論新社 | 「がん解明の同時代史」とあるように、遺伝学の発展とともに歩んできた著者が、個人的なエピソードも交えつつ、がん遺伝子の発見の歴史を魅力的に書いています。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『ヒトの変異：人体の遺伝的多様性について』★★ アルマン・マリー・ルロワ みすず書房 | ヒトの変異について、生物学的視点から紹介されています。豊富なエピソードと写真も多く、読みやすいです。「私たちはみなミュータントなのだ。ただその程度が、人によって違うだけなのだ」 |
| 59 | ちゃぶ台囲んで膝詰め対話 | 福井謙一記念研究センター シニアリサーチフェロー 榊茂好 | フロンティア軌道理論：役に立つの？ | 若者にお勧めしたい本 | 『学問の創造』 福井謙一 朝日新聞出版 | 福井謙一博士の幼少期から京大教授時代、その後における、自然科学に対するお考えなどが、興味深くつづられている。 |
| 60 | ちゃぶ台囲んで膝詰め対話 | 大学院医学研究科 日本学術振興会特別研究員DC2 華井明子 | 「これは効く」ってなんだろう？ | 今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本 | 『Rosalind Franklin : The Dark Lady of DNA』 Brenda Maddox HarperCollins | 二重らせん構造発見に関わるスキャンダラスな人間模様のなかで強い意志を貫き、人生を楽しみながら真剣に研究を行い続けたフランクリンに憧れ、研究を志したいと思いました。 |
| | | | | 自分の研究に関連して紹介したい本 | 『患者学のすすめ：“人間らしく生きる権利”を回復する新しいリハビリテーション』★★ 上田敏、鶴見和子 藤原書店 | 医学のなかで、病気だけでなくその人が生きてきた生活を支援していく「リハビリ」の専門家が、患者となった社会学者と考える「患者のあり方」について書いた一冊です。病院で「お医者さんが言うとおりにします」とは言えなくなります。 |



Dialog with the Public



生協ショップルネ書籍コーナーにて「研究者の本棚」関連コーナーを設置しています！
是非お立ち寄りください！

(場所：京都大学西部生協会館ルネ1階)